

農や食を学ぶ

高校生を応援します。

【高校生限定】食の検定・食農3級高校生応援プログラムのご案内

農や食をご専門とする高等学校の先生方へ。いま、教え子の皆さんは、卒業後の未来をどのように描き、どのような夢を心に抱いているのでしょうか。

『加工技術を生かせる食品メーカーに就職したい』『家業をついで農業に打ち込みたい』『大学に進学して、学問を究めたい。』など、十人十色だと思います。

彼等が選ぶ道の未来が、やりがいに満ちたステージであること、また、彼等が選んだ道へ彼等自身が自信を持って歩いてほしいと、先生方は願っているはず。

生きることのおおもとである食。その食の、根幹を支える農。人間にとってかけがえのない食と農の未来を担う高校生の皆さんを応援したい！私たち食の検定協会も思っています。



食の検定協会は、「日本の食、日本の農を守りたい」という思いから農と食の大切さと魅力を伝えることを目的に設立しました。

食料自給率の低下や担い手の減少など、日本国内の農を取り巻く環境は近年厳しい局面にあります。食育基本法施行が表わすように、食に対する国民の関心の薄さも懸念されています。

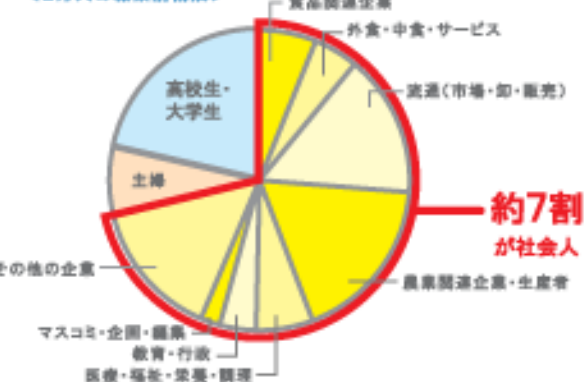
生きることのおおもとである食。その食の、根幹を支える農。大切な農を守るには、消費・生活を送るすべての国民が、農や食の大切さを知ることが肝要です。ともすれば、食の選択が「価

格」という価値観に支配されがちな現代社会にあって、消費者の食選択のあり方が地域産業の活性や環境保護などにもつながるという新しい価値観を伝えることを目的に、農と食に携わる企業有志・有識者によって組織したのが食の検定協会です。検定という方式で、食育の考え方や、食と農の意義・魅力を伝えていきます。

受験者の7割が農や食をはじめとする職業に従事。JAグループなど農業団体を中心に、企業受験が増えています。

食の検定・食農3級検定試験は2007年より実施しています。この4年間に、のべ2万人以上の方が受験されました。食育推進の担い手である食品・サービス、流通・生産など農と食のプロを中心に、教育や医療・福祉など様々な社会人が受験しています。また、食の検定を社員教育の一環として利用される企業・団体も増えています。

<2万人の職業別構成>



「食農3級」121人に

営業や出前授業 役割発揮を期待

2009年12月25日掲載

職員教育の一環として採用するJAグループさんが増えています。

左は日本農業新聞で紹介されたJA茨城県支援センターの取り組みです。次における都道府県の「中央会」「全農」「農協」「経済連」で受験実績があります。北海道・山形・茨城・栃木・群馬・千葉・東京・神奈川・新潟・石川・岐阜・静岡・愛知・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・岡山・愛媛・福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島

食の検定協会では、食の検定協会の運営に賛同してくださった企業・団体様とともに、社会人として食育知識を深める重要性を伝える「GOOD FOOD, GOOD CAREER」キャンペーンも実施しています。

私たちは、食育・食農知識の修得を大切な事柄と考えます。

GOOD FOOD, GOOD CAREER.

食の検定・食育推進パートナー宣言



高校生のうちに、ぜひ取得を。

食の検定・食農3級は、高校の授業とリンク。

高校で学んだ事柄を客観的に評価。 「自信」を胸に卒業後の世界へ。

食の検定の「食農3級」は、農と食を知る基本の級。生産から消費までを横断的に取り上げた構成で、東京農業大学と女子栄養大学の教授陣を中心に、農と食の分野で活躍するオーソリティによってつくられています。内容は、中学3年生までに習う理科と家庭科をベースに、「農」については農業科学基礎、「食」については高校の家庭科など、専門高校の1年生で学ぶ基本的な事柄をプラスしています。

農や食を専門とする高校の授業と食農3級の内容が非常にリンクしているため「生徒にすすめやすい」、食農3級の取得が「自信につながる」などの評価を先生方から多くいただいています。

また、食農3級を受験する高校生は回を重ねるごとに増加しており、これまでに全国でのべ約70校・1500人の高校生が受験しています。



2011年秋号のリーダーシップ(発行:農文協 9月発売予定)に同題例と取り組み事例を掲載しています。ぜひご覧ください。

ちょっとした努力とコツが合格への近道だから、

食の検定協会は、高校生限定の 高校生応援プログラムを用意。

食の検定協会では、食農3級を受験する高校生を対象に2009年後期検定試験より受験勉強を応援する企画、「高校生応援プログラム」を実施しています。大学生などに比べ、外部試験に慣れない高校生。受験勉強に戸惑うことがないよう「せっかく受験するなら合格してほしい!」、そんな気持ちで企画しました。このプログラムは協会が受験する高校生の学習を支援しようというもの。対象は、高校生の合格を願う学校・先生ですく受験者2名以上。ぜひ、ご検討ください。

食の検定・食農3級の概要

【取得者の人物像・スキル】

居住地域の食に目を向けつつ、望ましい食生活を送る上で必要な、農作物の生産から消費までの基礎的な知識を持つ人。

【レベル】 高等学校レベル 【受験料】 3150円(税込)

【合格点】 80点以上 【受験資格】 問わず

【試験概要】 四者択一マークシート方式 100問・90分

2011年後期検定試験
食の検定・食農3級 第10回検定試験

2011年11月27日(日) 開始14:00
終了15:30予定

★2011年後期試験(11月27日)の応援プログラムの
受付期間は、8月31日(水)から10月14日(金)です。

高校生応援プログラムは、100問中90問を占める
「一般問題」をマスターし合格を目指すものです。

★30問を
マスター

★一般問題(全国共通)
90問
「食の検定・食農3級
公式テキストブック 2版」
より出題
2625円(税込)
発売:農文協

★地方問題(受験地区別)
10問
「日本の地域食材
2009年版」
より出題
3300円(税込)
発売:良い食材を伝える会

高校生応援プログラムは、
受験する高校生の学習を2段階支援します。

step1. テキスト理解

受験を希望する高校生が自宅で効率よく学習、テキストを理解できるようにまとめたプリント

「学習のコツとポイント」

を1校につき1部
ご用意。



step2. 直前対策

重要学習教材の1つ
「過去問」、マークシート
を1校につき1部進呈。



さらに!

高校生限定特典

受験勉強を楽しく、かつ効果的に進めるためのシール(A4サイズ)を作成。「食の検定・食農3級公式テキストブック 2版」をご購入の高校生・学校には、テキストの要点をまとめたシールを1冊につき1部プレゼント。

◎シール使用例



テキストの余白に貼る。テキストを眺めながら要点の確認ができる。



※先生(学校)を通しての食の検定協会からのご購入に限ります。

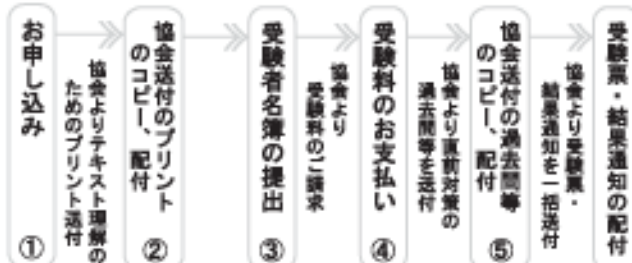
高校生応援プログラムは、受験者が2名以上、
先生(学校)が協会との窓口になってくれる高校限定

理由は…生徒さんのサポーターであってほしいから!

受験する生徒さんたちの支えとなってください。受験する生徒さんには、身近な応援者であり、相談者である「先生」が存在する中、安心して受験してほしいと思っています。勉強に行き詰っていないか、悩んでいるか、近くにいらっしゃる先生が見守ってください。

このプログラムでは、生徒さんが自宅で学習、検定試験にのぞむ方法を提案していますが、補習や授業の1つとしての採用など、先生主導で取り入れる学校も多くあります。

<先生にお願いする主な事務的事柄>



※①②⑤にかかる費用は、学校(先生)でご負担をお願いします。③の提出手数料は協会負担。

<協会から送付する高校生応援プログラムの資料>

- お申し込み時
- ★「学習のコツとポイント」
テキストの要点、学習の進め方など。
- ★「先生用ハンドブック」
試験スケジュール、試験勉強事例。
- ★「シール」(サンプル)
見本、テキストの要点などを記載。

- 試験約1か月前
- ★「過去問」、マークシート
過去問は最新のもの、
マークシートは本番と同じもの。

<食農3級限定>

学校を会場に10名より受験した
だけの学会増制度もございます。
詳しくは別紙をご覧ください。

